

ヤマジノギクの10月上旬出荷に成功！！

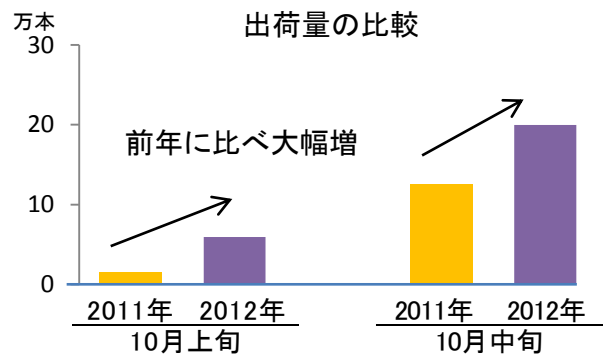
【研究のポイント】

〈背景〉
 本県オリジナルの切り花品目であるヤマジノギクは、露地で栽培され、主に10月中旬から11月下旬に出荷されています。小菊にはない紫色が珍重され、市場や生花店などからは、出荷期間の拡大を求められてきました。
 このため花きグループでは、出荷時期の前進化を目標として育種に取り組んできた結果、10月上旬から開花する濃い紫色の早咲き新系統の育成に成功しました。
 〈育成の経緯〉
 2009年に播種、定植した4,300株の中から、開花が早い紫色の9系統を一次選抜しました。2010年に開花時期が最も早い10月上旬で、花色、形質が最も優れた1系統を選抜しました。



【研究の成果】

〈本系統の栽培技術確立〉
 2011年に作型、施肥量等の試験に取り組み、栽培技術の確立を図るとともに現地試験を実施しました。
 〈生産農家への波及効果〉
 2012年から生産現場に親株苗を供給し、本格的な栽培が始まりました。その結果、10月1日から出荷が始まり、10月20日までに前年の2倍近い約26万本が全国の市場に出荷されました。



【生産者の声】

10月上旬から出荷ができるので、降霜が早い地域でも作りやすくなりました。出荷期間が拡がり、単収の向上が期待できるので楽しみです。

玖珠町 佐々木楠美さん



【消費者の声】

今までの品種の中で一番優れたオリジナルのヤマジノギク。枝が小分けできるのがメリットです。アレンジメントやいろいろな花の用途に最適な品種です。秋の季節の中で、紫の色が貴重な色合いです。



花き園芸講座講師 現代の名工
 (有)華つねまつ 会長 恒松 恵典 さん

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター農業研究部 花きグループ 花きチーム
 TEL：0977-66-4706
 住所：大分県別府市大字鶴見710-1